機能要求仕様書兼確認書

別紙3

これに記載の要求事項は実現できることが望ましい。

【記載要領】

- ①回答欄の該当する箇所にお印をつけてください。A～Dの項目は次のとおりです。
 - A: パッケージとして対応済みで稼働実績あり
 - B: カスタマイズにより対応可であり、他での稼働実績あり
 - C: カスタマイズや代替運用方法を提示できる
 - D: 対応不可
- ②代替案で対応する場合には、備考欄に代替案を記入し提出すること。
- ③「C」はA, B以外の方法で対応できる場合に選択するものとし、その内容を備考欄に記入すること。
- ④一つの項目に複数の要求される機能があり、その一部のみ対応出来る場合は、△印を付け、その内容を備考欄に記入してください。
- ⑤必須の項目におけるカスタマイズは提案業者の負担とする。

カテゴリ	No.		機能要求事項	回答				備考
				A	B	C	D	
I 基本機能	1	必須	各職員の業務用パソコンに専用ソフトのインストールやモジュールの追加等する必要がないこと。					
	2	必須	各課のパソコンからウェブブラウザを通し、ユーザID、パスワード認証によりログインできること。					
	3	推奨	サイト全体を統一したデザインで管理できること。また、サイトの共通部分を修正した場合、全体に反映できること。(特設サイトを除く。)					
	4	推奨	Webサーバに公開されるファイルは静的なHTMLであること。					
	5	必須	登録できるユーザID数及びページ数は無制限であること。					
II ページ 作成機能	6	必須	作成されるHTMLは「HTML Living Standard」に準拠すること。					
	7	必須	UTF-8の文字コードに対応できること。					
	8	推奨	必須入力項目(ページタイトルや公開設定日など)を設定し、入力しない場合は、ページ作成できないように制御できること。					
	9	必須	ページタイトルにサイト名を併記して表示できること。(例:ページ名 宮崎市)					
	10	必須	ページに対して、複数のカテゴリを設定できること。					
	11	推奨	管理者がホームページ内共通でメタ要素に挿入されるべき文字列をあらかじめ指定し、その内容が自動的に挿入できること。					
	12	必須	ページ作成画面(管理画面)で、URLが同じページがある場合や、リンク先の接続エラー、アクセシビリティチェックによるエラーは、警告メッセージ等を表示できること。					
	13	必須	ページの任意の場所に「公開日」の情報が表示できること。					

14	必須	作成者が公開予約/非公開予約の日時指定ができること。			
15	必須	ワークフロー等により承認者の承認がないと公開されない設定ができること。			
16	必須	1つのページに対して、複数のユーザが編集権限を持てること。また、権限のないページに対しては、閲覧・編集ができないこと。			
17	必須	同一ページを複数ユーザが同時に編集できない、または、編集中の場合は警告を出すことができること。			
18	必須	複数それぞれに割り振られたユーザIDを使って、同時に別々の作業ができること。			
19	必須	過去に作成したページの管理ができ、過去のページを複製してページ作成ができること。			
20	必須	ヘッダーやフッターなど、サイトの共通部分の変更は管理者のみが行えること。			
21	推奨	高度な専門知識を持たない職員でも簡単にページ作成できるように、ワードライクなWYSIWYG入力ができること。			
22	必須	テンプレートを選択しただけで、統一したデザインのページが作成可能なこと。			
23	推奨	フォーム入力型のテンプレートを利用できること。			
24	推奨	ワードライクなWYSIWYG入力型とフォーム入力型が同一テンプレート内で併設できること。			
25	必須	権限を与えられたユーザは、HTMLソースを直接編集できること。			
26	必須	作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。			
27	必須	ページの編集中に公開時のイメージでプレビューできること。			
28	必須	作成したページを公開時のイメージでプリントアウトできること。			
29	推奨	ページ作成の基本操作や注意事項など、図解入りでわかりやすく説明されたヘルプ画面が用意されていること。			
30	必須	各ページに統一されたグローバルナビゲーションが自動生成できること。			
31	必須	各ページにローカルナビゲーションが自動生成できること。			

32	推奨	各ページのグローバルナビゲーション及びローカルナビゲーションに変更が生じた際は、管理者が簡易な操作で更新できること。				
33	推奨	グローバルナビゲーション、ローカルナビゲーション変更時は、個別ページの変更も簡易な操作で変更できること。				
34	必須	全てのページにトップページへ戻るリンクを設定できること。				
35	推奨	パンくずリストを自動生成できること。				
36	推奨	その際、ページタイトルが自動的に引用できること。				
37	必須	見出しレベル(<h>タグ)、段落(<p>タグ)が、HTMLの知識がなくても簡単に指定できること。				
38	必須	ページ作成時、ユーザIDにあらかじめ設定された属性情報に基づき、ページ内の特定の位置に、所属、電話番号等の項目を自動挿入できること。				
39	必須	表を新規で作成できること。その際、行、列の追加や削除、見出しセルの設定、幅のパーセント指定などが、HTMLソースコードを編集することなく、簡易な操作でできること。				
40	推奨	表計算ソフトで作成した表を取り込める(もしくはコピー&ペーストすること。その際、アプリケーション特有のHTML表現を自動的に削除できること。				
41	推奨	表計算ソフトから取り込んだ(もしくはコピー&ペーストした)表を加工できること。その際、行、列の追加や削除、見出しセルの設定、幅のパーセント指定などが、HTMLソースコードを編集することなく、簡易な操作でできること。				
42	必須	簡易な操作でページ内に画像の配置や変更ができること。				
43	必須	画像の配置位置(上・下・左・右・中央)の指定ができること。				
44	必須	画像を配置した場合に、テキストの回り込み指定ができること。				
45	必須	画像の代替テキスト(ALT属性)の未入力を防ぐために、アラートが表示できること。				
46	推奨	画像の代替テキスト(ALT属性)入力の際に、alt=""(空)を指定できること。				
47	必須	登録できる画像のファイル種別(JPEGやGIFのみ等)を制限できること。				
48	必須	登録できる画像のファイル容量(またはサイズ)を制限できること。				
49	推奨	画像をリサイズする機能があること				

50	推奨	全ユーザが共通で使用可能な画像の素材集が設けられること。その素材集は、管理者によって追加、削除が可能なこと。				
51	必須	リンク先のページを表示する際、同一ウィンドウで開く設定ができること。				
52	必須	PDF等の各種ファイルを添付できること。				
53	必須	PDF等の各種ファイルを添付する場合、ファイル形式は管理者の定めた形式のみに制限できること。				
54	必須	PDF等の各種ファイルを添付する場合、ファイル容量を制限できること。				
55	必須	添付したファイルの種類や容量の表記が自動挿入できること。				
56	必須	添付したファイルの種類により、閲覧用のダウンロードソフトを案内する表示が挿入できること。				
57	必須	プレビュー画面で、他のページへのリンクや添付したファイルへのリンクを確認できること。				
58	必須	外部、内部へのリンク切れのチェックが、ページ単位で行えること。				
59	必須	ページ内に地図情報が埋め込めること。				
60	必須	YouTube等の動画をページ内に掲載できること。				
61	必須	日本工業規格「JIS X8341-3:2016」達成等級AAに準拠したページ作成ができること。				
62	必須	ページ作成時に下記のチェックができ、問題があった際は注意等のメッセージを表示、問題箇所を特定できること。また、同時にどのように修正すればよいかの説明を表示できること。(1)画像の代替テキスト有無(2)日付、時間などの表記(3)全角英数字、半角カナの使用の有無(4)機種依存文字の有無(5)不要な全角スペースの有無(6)ページタイトルの有無				
63	必須	その際、管理者が指定したチェック項目に限り、好ましい表記に自動で置き換えできること。				
64	必須	管理者がチェック内容を自由に選択、設定できること。				
65	推奨	使用が好まれない単語を含んでいる場合、管理者が用意する辞書を元に、好ましい表記に変換する機能があること(例:「子供」→「子ども」。)その際に、注意等のメッセージを表示する単語は、管理者が任意で登録でき、その登録単語数に制限がないこと。				

	66	必須	本番と同様・同等の練習用環境があること。(管理者用のみ)				
	67	必須	音声読み上げ用の音声ファイルを自動的に生成できること。				
	68	必須	公開記事の一覧について表示/非表示や並び順など自由に設定できること。				
	69	推奨	地図と連動した施設の情報を検索できる仕組みを用意できること。				
	70	必須	地図と連動した施設の情報は管理画面から追加・変更ができること。				
	71	必須	アクセシビリティの知識がない職員でも、音声読み上げに配慮されたページを作成できること。				
III コンテンツ 管理機能	72	必須	サイトマップを自動生成できること。				
	73	推奨	「お知らせ」や「新着情報」など、ページが公開されたタイミングで自動的にリンクを表示(更新)する領域が設けられること。				
	74	推奨	その際、ページの属性情報(カテゴリ名や「重要」「緊急」などの種別)等を付与できること。(例:個別のマークを付ける、視覚的に領域を分けるなど。)				
	75	推奨	自動生成されるリンクテキストの件数、表示順を、管理者が任意で変更できること。				
	76	推奨	サイト全体、あるいはカテゴリごとの新着情報をRSSフォーマットで出力できること。				
	77	必須	RSSによる配信を行うページ(またはカテゴリ)の設定ができること。また、運用開始後も、サイト管理者が、RSSを配信するページの追加、削除などの変更ができること。				
	78	必須	任意のページに広告バナーを掲載する領域が設けられること。				
	79	必須	あらかじめ登録しておいた広告バナーを、指定された公開期間で公開できること。				
	80	推奨	掲載する広告バナーは、固定、ランダムを表示を自由に選択できること。				
	81	必須	バナー設置数に制限がないこと。				
	82	推奨	トップページの広告バナーは、閲覧者がスクロールしても動くことがなく、常に画面上の一定の位置にとどまるような表示手法が実現可能なこと。(フロー型での表示。)				
	83	必須	任意のページに設置された広告バナーが、閲覧者にどれだけクリックされているかを集計する機能があり、集計された結果をCSV形式などで保存、出力できること。				

	84	必須	サイト内検索ボックスを、全ページに設置し、全文検索できること。				
	85	必須	Googleなどが提供する検索サービスなどを利用できること。				
	86	必須	更新情報をX・Facebook・LINE・Instagramなどで提供できること。				
	87	推奨	全ページにXの「ポスト」ボタンやFacebookの「いいね」ボタンなどを設置できること。				
IV サイト 管理機能	88	必須	CMS上で登録されているページを、タイトル、カテゴリ、作成者、公開期間などで検索できること。				
	89	必須	CMSに登録されている全ページの現在の状態(新規作成中、編集中、承認依頼中、公開中、非公開中など)を、画面上で一覧し確認できること。また一覧を出力できること。				
	90	必須	特定の語句がページ内に使用されているページを検索できること。				
	91	必須	管理者は容易にカテゴリ、サイト構成、デザイン等の変更ができること。				
	92	必須	管理するディレクトリ階層数に制限がないこと。				
	93	必須	ページごとに公開開始/公開終了の指定ができ、自動的に関連ページ(サブメニューページや新着情報等)も含め公開/非公開できること。				
	94	必須	管理者または指定されたユーザのみ即時公開ができること。				
	95	必須	公開されたページをWebサーバから削除できること。その際、公開期限が終了したページは、リンクされたファイルにはアクセスできないようにすること。				
	96	推奨	その際、対象の画像やPDF等が削除対象ではないページからリンクされた状態にある場合、サーバ上に残せること。				
	97	必須	公開が終了したページは、CMSサーバ上にはデータが残っており、再利用できること。				
	98	推奨	一定のルールに従って、CMS外で作成されたHTMLファイルや画像などのファイルを、一括でCMSへ取り込めること。				
99	必須	その際、取り込んだファイルは、CMS内で作成したページと同様の操作で編集でき、アクセシビリティチェックができること。					
100	必須	災害発生時に、トップページの目立つ位置に災害情報を配信するエリアを設けられること。					
101	必須	災害時には、管理者による簡易な操作でトップページを簡素なデザインに切り替えられること。					

	102	推奨	災害時に発信されるさまざまな情報を時系列で管理、表示する機能があること。日単位、週単位、月単位などで分類して表示できること。				
	103	必須	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。				
	104	推奨	テンプレートは、HTMLやCSSの知識のある管理者によって修正、新規作成、削除ができること。				
V システム 管理機能	105	必須	管理者は、管理コンテンツの割り振り、権限設定、ユーザID、パスワードの付与ができること。				
	106	必須	システムのログイン画面、またはログイン後に最初に登場する画面に、管理者からのお知らせを表示できること。				
	107	必須	システムのメンテナンス中は、管理者権限のアカウントのみログイン可能で、それ以外の権限ではログインできないようにすること。				
	108	必須	ページの公開、削除といった履歴をログとして残せること。				
	109	推奨	任意のページに対して行われた操作履歴を、一覧で確認できること。				
	110	推奨	管理者はCMSを使って、簡易な操作でユーザ情報の修正、追加、削除を行えること。				
	111	推奨	CMSに登録されたユーザ情報を、CSV等の形式で出力できること。				
	112	推奨	事前にCSVなどの形式で作成しておいたユーザ情報をCMSに取り込むことで、修正、追加、削除が容易に行えること。				
	113	必須	所属新設や廃止、業務移管などの組織改編により、ページ及びコンテンツの所管する課が変更になったときには、管理者が簡単な操作で、一括して、ページ及びコンテンツの移行ができること。				
	114	必須	管理者はCMSを使って、簡易な操作で組織情報の修正、追加、削除を行えること。				
	115	必須	CMSに登録された組織情報を、CSV等の形式で出力できること。				
	116	必須	事前にCSVなどの形式で作成しておいた組織情報をCMSに取り込むことで、修正、追加、削除が容易に行えること。				
	117	必須	管理者は、組織情報である部署名、問い合わせ先情報など管理できること。				
	118	必須	承認過程において、ページのプレビュー画面(公開されたときと同じ状態)をブラウザで表示できること。				
	119	必須	承認者に対して承認依頼があった旨を自動的にメールで通知できること。				

	120	必須	作成者が承認依頼中の引き戻しができ、ページを再編集できること。				
	121	必須	承認者は、承認依頼を差し戻す際、作成者向けにコメントを追記できること。				
	122	必須	緊急時や災害時、または指定のアカウントにて、作成者(各所属)自身が通常の承認ルートを通ることなく即時公開できること。				
	123	必須	公開サーバー(本番環境)とは異なる環境でバックアップ用のサーバを用意すること。(リスク分散)				
	124	必須	Webサーバ等が複数台あるなど、災害時等のアクセス集中にも十分対応できる環境があること。 (1時間あたり2.5万アクセスにも対応できること)				
	125	必須	管理者以外で、公開権限を持つユーザ(公開責任者)を設定できること。				
	126	必須	権限を与えられた承認者、ならびに公開責任者は、承認依頼を受けたページを編集できること。				
VI 追加機能	127	推奨	暗号化通信(SSL通信等)に対応したアンケートフォームが容易に設定でき、結果を集計できること。				
	128	推奨	宮崎市がもつFAQシステムからCSV形式などで出力したデータを取り込むことができ、カテゴリ別表示が可能なFAQページを作成できること。また、容易に作成・更新・削除ができること。				
	129	推奨	申請書などを一括でダウンロードできるコンテンツを生成できること。				
	130	必須	サイトを翻訳できる機能があること。				